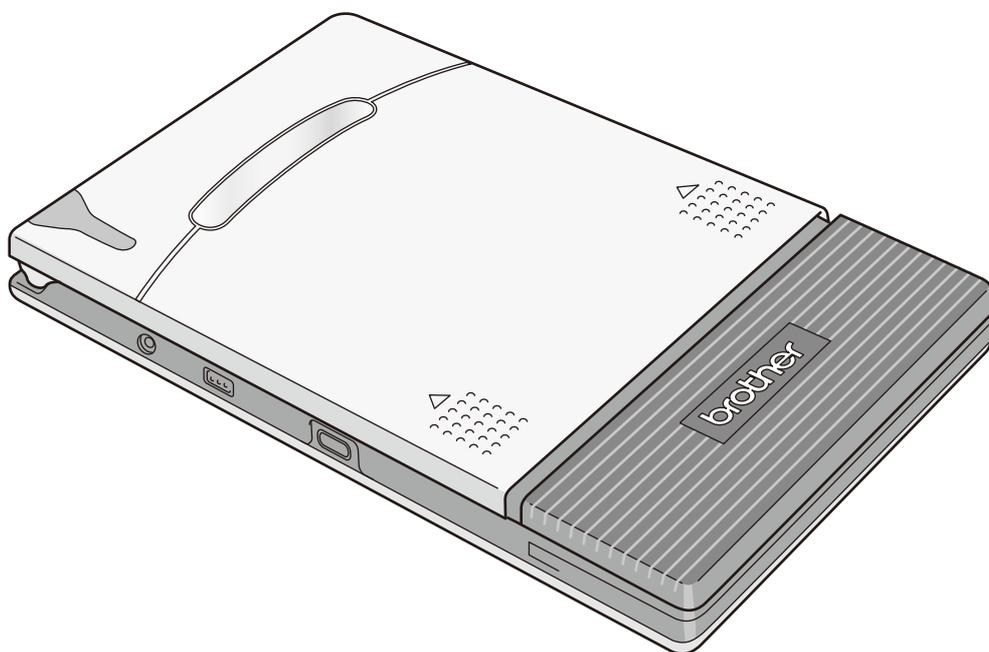


brother

MPRINT

基本操作説明書

MW-170
モバイルプリンター



- ご使用になる前に必ず本書をお読みください。
- 本書はお読みになったあとも大切に保管し、いつでも手にとって見ることができるようになしてください。

はじめに

このたびは、モバイルプリンター MPrint MW-170（以下「本機」）をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本機はパソコンまたはモバイル端末と接続し、簡単な操作で印刷できる、軽量、薄型の感熱式モノクロモバイルプリンターです。

本書は、お使いになるための取扱説明書ファイルの開き方や最低限の必要事項を記載しています。ご使用になる前に必ず本書および取扱説明書をお読みの上、正しくお使いください。

本書はお読みになったあとも大切に保管し、いつでも手にとって見られるようにしてください。

- 本書の内容は予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容の一部または全部を無断で複製、転載することは禁じられています。
- 本書の内容は万全を期して作成いたしました。が、万一不審な点や誤りなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。お問い合わせ先は、「安全にお使いいただくために」をご参照ください。
- 地震および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他特殊な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いませんので、ご了承ください。
- 本機の使用または使用不能から生じるいかなる他の損害（消失、事業利益の損失、逸失利益、事業の中断、通信手段の消失など）に関して、当社は一切責任を負いませんので、ご了承ください。
- 万一、当社の製造上の原因による品質不良があった場合には、商品をお取り替えいたします。それ以外の責はご容赦いただきます。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

ホームページのご案内

弊社ホームページでは、最新の情報をお届けしています。
最新の商品情報やプリンタードライバー、取扱説明書をぜひご覧ください。

- ・ モバイルプリンター製品紹介のページ
www.brother.co.jp/product/mwprinter/
- ・ サービス&サポートホームページ
サポートサイト
support.brother.co.jp

開発者向け情報のページでは、各ホストに対応した SDK や開発情報が
無償でダウンロードいただけます。

- ・ モバイルプリンター開発者専用情報
www.brother.co.jp/product/dev/mobilesdk/

取扱説明書の構成

本機には、安全にお使いいただくためにと基本操作説明書とソフトウェアユーザズガイドが用意されています。ソフトウェアユーザズガイドはサポートサイトからダウンロードしてください。

それぞれの文書には、以下のような説明が記載されています。

安全にお使いいただくために

本機をお取扱いいただく際の注意事項を説明しています。

基本操作説明書

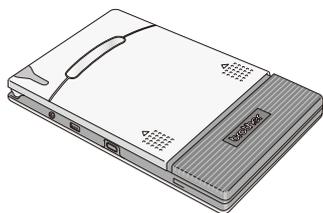
本機のセットアップのしかた、ドライバーやソフトウェアのインストールのしかたなどについて説明しています。

ソフトウェアユーザズガイド

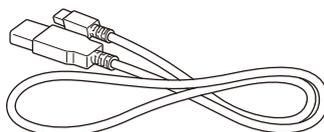
ソフトウェアの使用方法を説明しています。

同梱品一覧

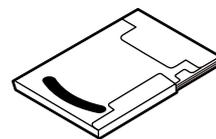
本機



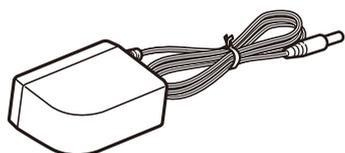
USB ケーブル
(Type-C)



ペーパーカセット
C-11 感熱紙
(50 枚入り)



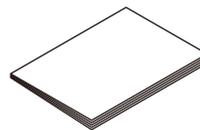
充電器 (AC アダプター)



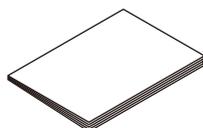
リチウムイオン
充電電池 (BT-100)



基本操作説明書
(本書)

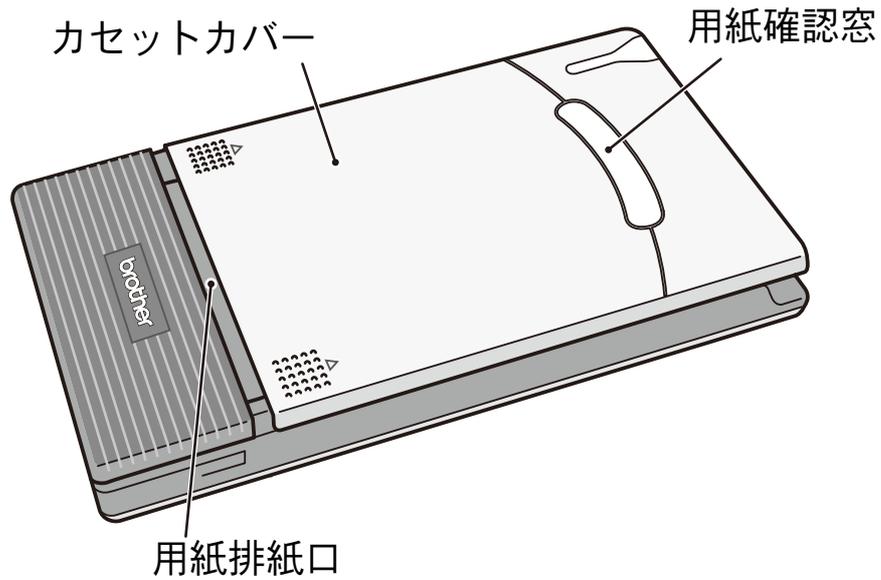


安全にお使いいただく
ために

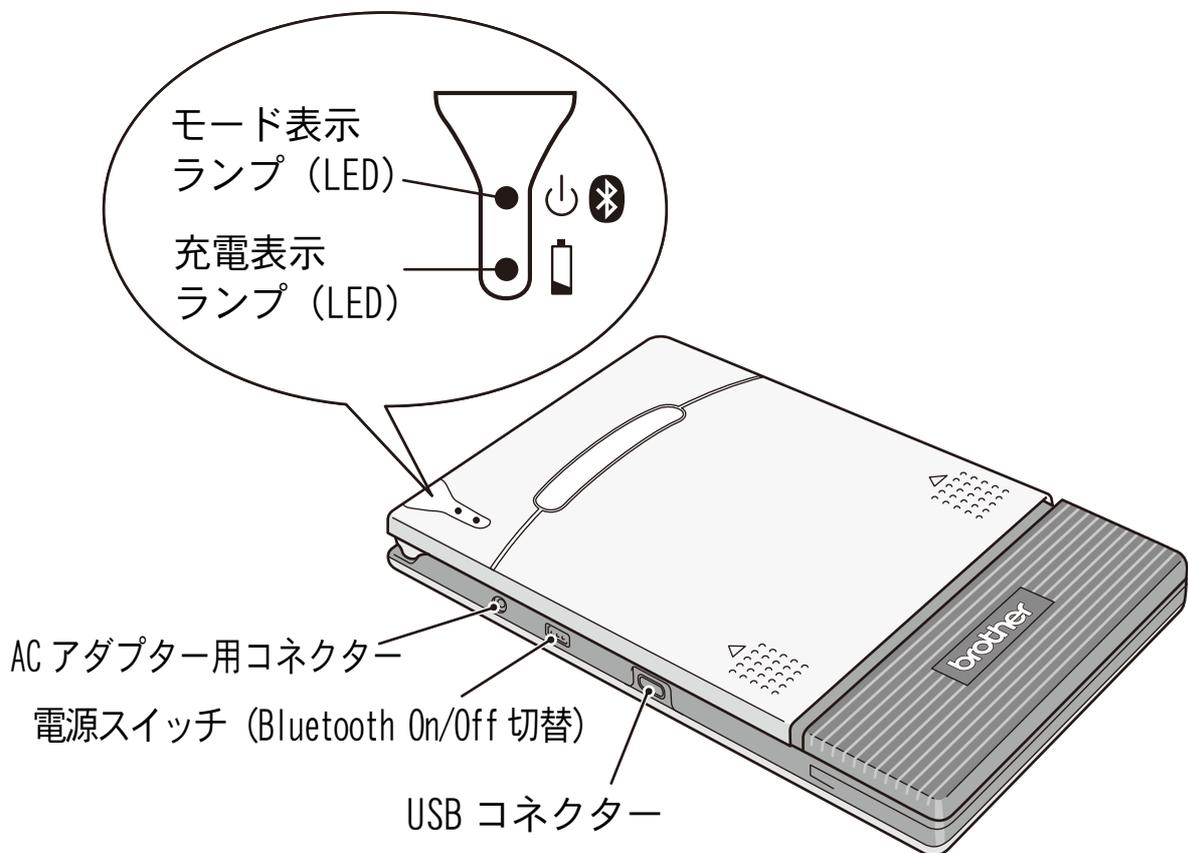


各部の名前

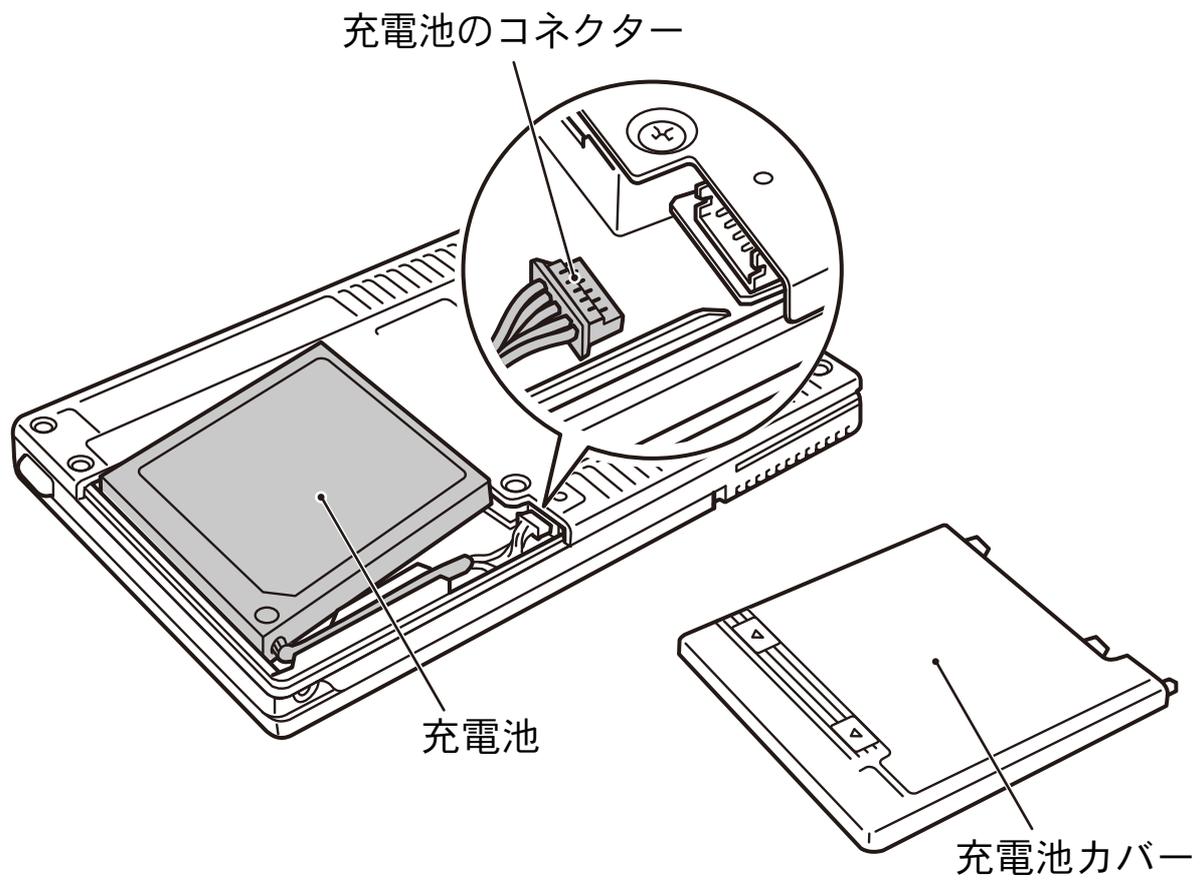
右側面



左側面



背面側



ご使用前に

充電電池を取りつける

⚠ 危険



指定された充電電池（BT-100）以外は、使用しないでください。発火・故障の原因となります。



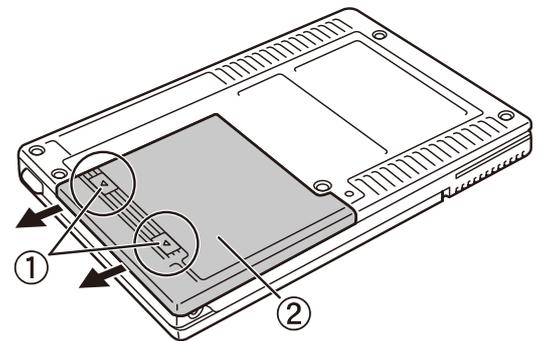
充電電池を取り扱う場合、安全にお使いいただくための注意事項を合わせてご参照ください。



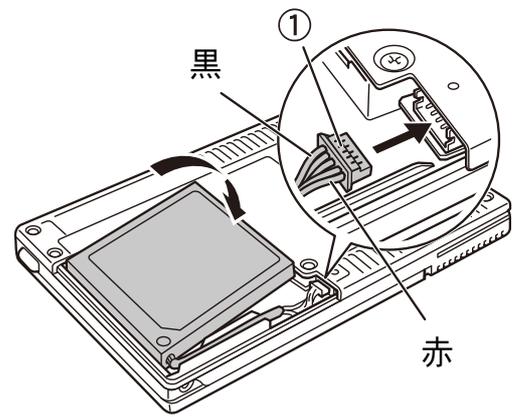
● 充電電池を分解しないでください。

● この充電電池のコネクターは、頻繁に抜き差しすることは、考慮されておられません。頻繁に抜き差しすると、コネクターの破損、バッテリーコードの断線の恐れがあります。充電電池の取り外しは、寿命で充電電池交換を行うとき、長期保管時のみにしてください。

1 ①の部分を押しながら、充電電池カバー②をスライドさせてカバーを本機から取り外します。

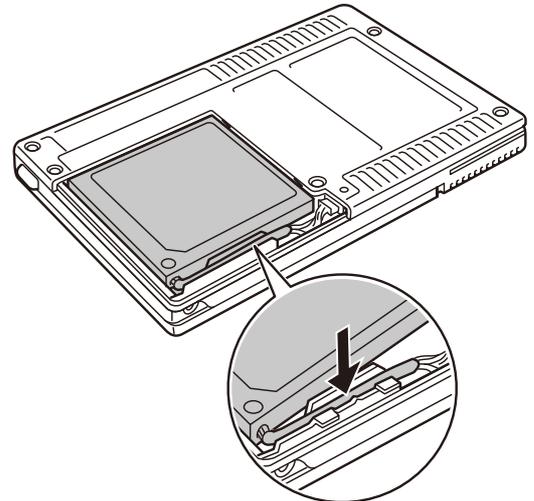


2 充電電池のコネクター①を、右図の方向に差し込みます。

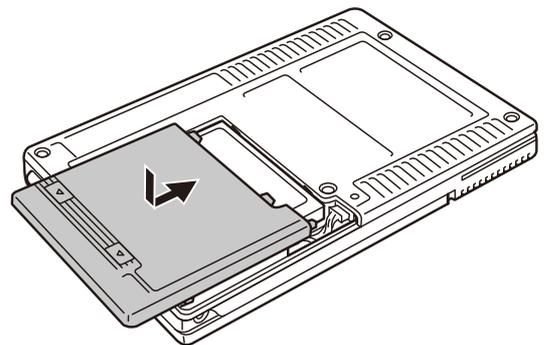


- コネクターは、奥までしっかり差し込んでください。ただし、強い力を加えないようにしてください。
- バッテリーコードの色を参考に、コネクターの向きを間違えないようにしてください。コネクターが破損する恐れがあります。

3 バッテリーコードを図のように溝にはめこみます。



4 充電電池カバーを、本機の背面にスライドさせるようにして、取りつけます。



バッテリーコードをはさまないように注意してください。

充電する

本機専用の AC アダプターをご使用ください。
ご購入後は、必ず充電表示ランプ（充電中はオレンジ色に点灯）が消灯するまで充電してからお使いください。

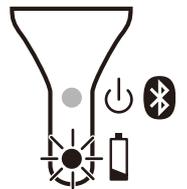
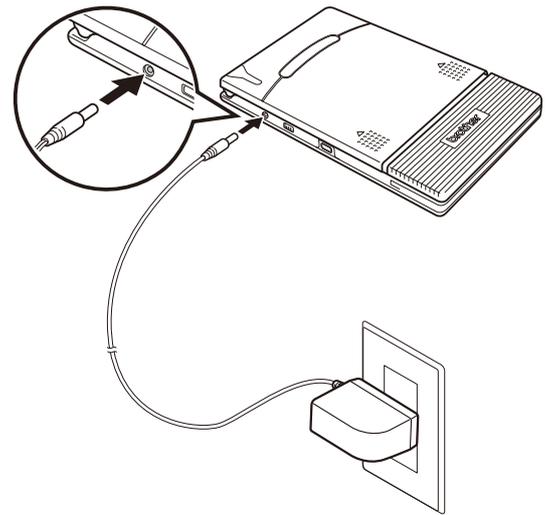
1 本機に AC アダプターのコネクターを接続します。

2 ACアダプターのプラグを家庭用コンセント（AC100V）に差しこみます。

自動的にリチウムイオン充電電池の充電が開始されます。

→ 充電表示ランプがオレンジ色に点灯します。

→ 充電が完了すると、充電表示ランプが消灯します。



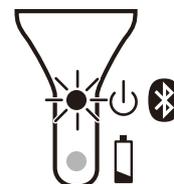
- 充電は 5℃～40℃の環境下で行ってください。（それ以外の温度下では、充電されません。）
充電中に上記以外の温度範囲になった場合は、充電を停止します。（ただし、充電表示ランプは点灯したままです。）
- 充電時には電源を切って頂くことをお勧めします。

3 充電後は AC アダプターを外します。



- 本機は、充電電池が挿入されていない場合、ACアダプターの電力だけでは動作しません。
- 付属の USB ケーブルでパソコンに接続するか、モバイル端末充電時にご使用の USB-AC アダプターに接続して充電することもできます。（5V/0.5A 以上）
充電時間は充電方法や環境によって異なります。

表示ランプと本機の状態



■ モード表示ランプ

モード表示ランプが青色や緑色のときは正常な状態、モード表示ランプが赤色のときはエラー状態を表します。

モード表示ランプが緑色の時は USB のみ、青色のときは Bluetooth または USB インターフェイスのどちらを使用しても通信できます。ただし、いったん通信を開始すると、印刷が完了するまではもう一方のインターフェイスを使用して通信することはできません。

ランプの色	ランプの状態	本機の状態
青	点灯	受信待機状態 (Bluetooth または USB 使用可能)
	1 秒ごとに点滅	通信中 (Bluetooth 使用中)
	2 秒ごとに点滅	プリンターから iPad* に接続中
	3 秒ごとに点滅	スリープモード (省電力待機状態、 Bluetooth 通信のみ使用可能)
緑	点灯	受信待機状態 (USB 使用可能)
	点滅	通信中 (USB 使用中)
赤	点滅	エラー状態 (→ p. 9 ①参照)
	点灯	システムエラー (→ p. 9 ②参照)

* は iPad、iPhone、iPod などの総称とする。

- ① エラー状態（赤のランプが点滅）になったら、以下のエラー内容を確認してください。

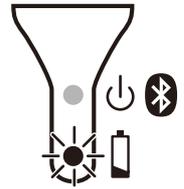
エラーの内容	解決方法
ペーパーカセットなし* ペーパーカセットの方向間違い* 用紙なし*	用紙が入っているペーパーカセットを正しくセットしてください。（→ p. 15 参照） 一旦ペーパーカセットを外すか、プリンターの電源を入れ直すと、エラーが解除されます。
紙詰まり	詰まった用紙を取り除いてください。（→ p. 27 参照） プリンターの電源を入れ直しても、詰まった用紙が取り除かれないと、エラー状態が続きます。 用紙送りローラーを清掃し、紙粉を取り除いて下さい（p. 26 参照）
通信エラー	通信状態を確認してください。（→ p. 18 参照） 数秒間待って、エラーから復帰した時に、印刷を再開させるにはデータを送りなおしてください。 Bluetooth 接続時、しばらく待っても復旧しない場合は、再度接続しなおしてください。
高温エラー	本機内部が高温になっています。 温度が下がるまでお待ちください。 印刷途中で高温エラーになった場合、途中まで印刷された用紙は、フィードして排出されます。

* プリンタードライバーの通信設定によっては、モード表示ランプが赤色に点滅せず、PC 画面にエラーメッセージが表示されます。

- ② システムエラー（赤のランプが点灯）になったら…
 故障している可能性があります。お買い上げの販売店、またはコールセンターにご連絡ください。（「安全にお使いいただくために」参照）

■ 充電表示ランプ

充電表示ランプで、電源の状態が確認できます。
充電表示ランプには2つの機能があります。



① 充電状態の確認（ACアダプターまたはUSBケーブル接続時）

ランプの状態	本機の状態
点灯	充電中
消灯	充電完了
点滅	充電池の異常

② 充電池残量の確認（リチウムイオン充電池で起動時）

ランプの状態	充電池残量の目安
消灯	充電池残量 60% 以上
1 回点滅	充電池残量 60% 未満
2 回点滅	充電池残量 30% 未満
3 回点滅が続く	要充電



- 充電池を長持ちさせるため、できるだけ電力を使い切ってから充電してください。
- 3 回点滅が続くようになってから充電してください。
- 充電池の特性上、満充電の状態でも、低温の環境で使用した場合は、印刷可能枚数が大幅に減少します。
- 充電池を長持ちさせるため、充電完了後は本機から AC アダプターをはずしてください。また、USB ケーブルでの充電完了後は、USB ケーブル接続での印刷を除き、USB ケーブルをはずしてください。
- 高温環境下では充電池の劣化が進みます。高温環境（車内、ストーブの近く、電気カーペットの上など）、直射日光の当たる環境を避けてください。

■ 充電表示ランプが点滅した場合

下記の原因により、充電が完了していない可能性があります。

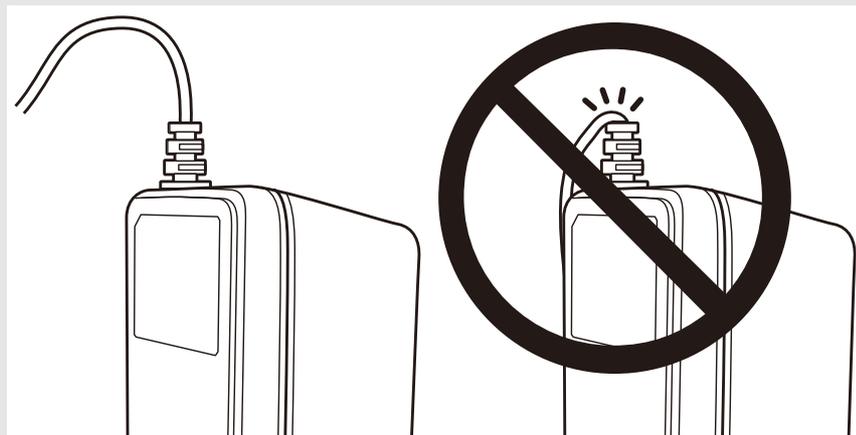
- ・ 充電電源供給元が定格を守っていない（付属の AC アダプターまたは USB ケーブル以外を使用時）
- ・ 充電動作範囲（5℃～40℃）外で充電をした

- ① 本体の電源を一旦「オン」にしてから「オフ」にして電源を切り、点滅状態を解除してください。
- ② 以下の項目に注意して、再度充電を行ってください。
 - ・ USB ケーブルで充電する場合は、USB ハブを使わずに直接パソコンに接続してください。
 - ・ AC アダプターで充電する場合は、専用 AC アダプターを使用してください。
 - ・ 充電中は常に 5℃～40℃の環境を維持してください。

上記を試しても、充電開始から 8 時間以上経過後に充電表示ランプが点滅した場合は、充電電池の異常が考えられます。充電電池を交換してください。（→ p. 28 参照）



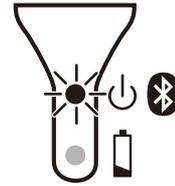
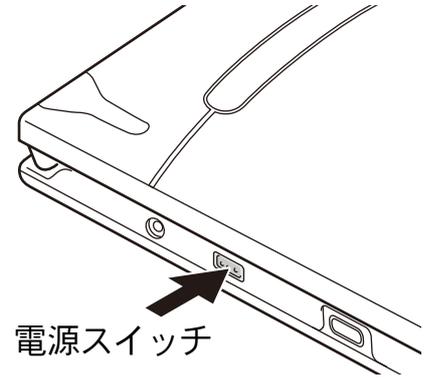
- 本機はリチウムイオン充電電池を使用しています。十分に充電しても、本機の使用できる時間が短くなったときは充電電池の寿命ですので、新しいリチウムイオン充電電池と交換してください。
- 回路を保護するため、極端に高温または低温のときは充電機能が働きません。
- AC アダプターのケーブルを AC アダプターに巻き付けたり、折り曲げたりしないでください。断線の原因となります。



電源を入れる／切る

電源スイッチを少し長めに押します。

- モード表示ランプが点灯するまで押します。
- 電源が入ると、モード表示ランプが点灯します。
(Bluetooth モードが「オン」の場合：青色
「オフ」の場合：緑色)



電源スイッチは指の腹で押してください。スイッチをペン先など尖ったもので押すと、大きな負荷がかかり、電源スイッチが破損するおそれがあります。



本機は、誤って電源が入ってしまうことを防ぐため、軽く触れただけでは電源が入らないようになっています。

■ オートスリープ

(Bluetooth モード「オン」のとき) :

一定時間操作やデータ通信が行われないと、自動的にスリープモードに入ります。自動的にスリープモードに入るまでの「オートスリープ時間」は [プリンターのプロパティ]-[デバイスの設定]にある [ユーティリティ...] で設定できます。

(→ソフトウェアユーザーズガイド参照)

■ オートパワーオフ

(Bluetooth モード「オフ」のとき) :

一定時間操作やデータ通信が行われないと、自動的に電源が切れます。自動的に電源が切れるまでの「オートパワーオフ時間」は [プリンターのプロパティ]-[デバイスの設定]にある [ユーティリティ...] で設定できます。

(→ソフトウェアユーザーズガイド参照)

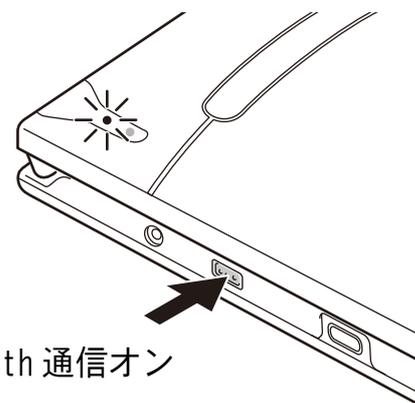
Bluetooth を使う

■ Bluetooth モードを「オン」にする

1 モード表示ランプが緑色に点灯していることを確認します。(Bluetooth モード「オフ」)

2 電源スイッチを押し続け、モード表示ランプが一旦消灯した後に青色に点滅を始めたら、電源スイッチを離します。

→ モード表示ランプが青色に点灯します。(Bluetooth モード「オン」)



Bluetooth 通信オン

■ Bluetooth モードを「オフ」にする

1 モード表示ランプが青色に点灯していることを確認します。(Bluetooth モード「オン」)

2 電源スイッチを押し続け、モード表示ランプが一旦消灯した後に青色に点滅を始めたら、電源スイッチを離します。

→ モード表示ランプが緑色に点灯します。(Bluetooth モード「オフ」)



USB 通信を使って印刷を実行する場合は、省電力のため、Bluetooth モードをオフにすることをおすすめします。



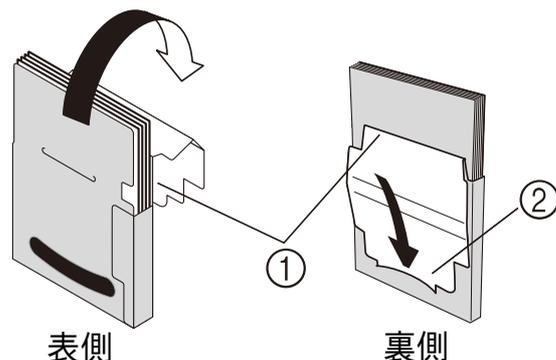
- Bluetooth 機器の発する電波は、周囲の電子機器の動作に影響を与える恐れがあります。下記の場所では Bluetooth モードをオフにしてください。
 - ・ 病院内
 - ・ 航空機内
 - ・ ガソリンスタンドなど引火物付近
 - ・ 火災報知機
- Bluetooth は電波を使った無線技術のため、下記の場所では接続しにくくなります。
 - ・ 他の電子機器の付近
 - ・ 放送局や無線機の付近
 - ・ ワイヤレス LAN (IEEE802.11) 使用域
- Bluetooth 機器は、電源を入れてから Bluetooth 機能が使えるようになるまでに、時間がかかることがあります。この時差は機器によって異なります。

ペーパーカセットの準備

本機専用のペーパーカセットを使用してください。他の用紙を使用すると、給紙不良や、プリンター本体の故障の原因となります。

本機にペーパーカセットをセットするための準備をします。

- 1** 裏側の折り線①に沿って、フタをしっかりと折り曲げます。



折り曲げが不十分だと用紙が正しく送られません。

- 2** フタの先を裏側の切り込み口②に差し込みます。



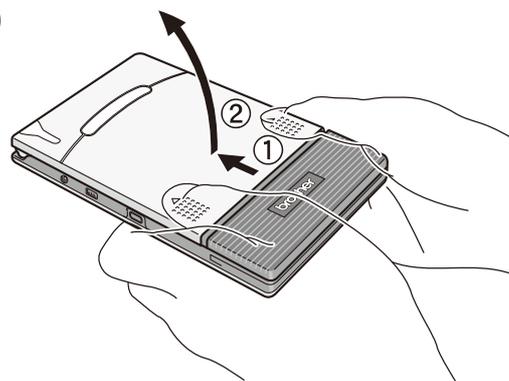
ペーパーカセットの取り扱い

- 本機は、セットしたペーパーカセットによって用紙の種類を識別し、その用紙に最適な設定を自動的に行っています。用紙を抜いて別のカセットに入れ替えないでください。
- 一度使用したり、ペーパーカセットから出した用紙をもう一度ペーパーカセットに戻さないでください。
- ペーパーカセットは紙製です。使用後は、各自治体の決まりに従って廃棄してください。
- 故障の原因になるので、やぶれたり、変形したカセットは使用しないでください。
- 保管するときは、必ずペーパーカセットのフタを閉めてください。
- 変色のおそれがあるので、なるべく早くご使用ください。

用紙をセットする

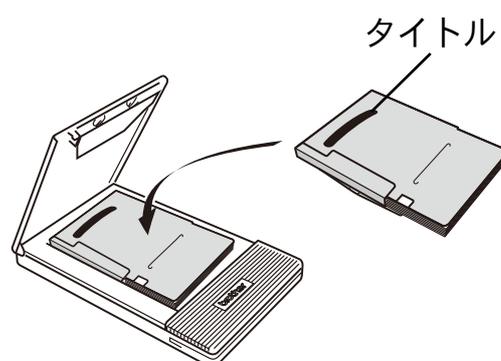
1 本機上面のカセットカバーを①の方向にスライドさせます。

→ カセットカバーが②の方向に開きます。



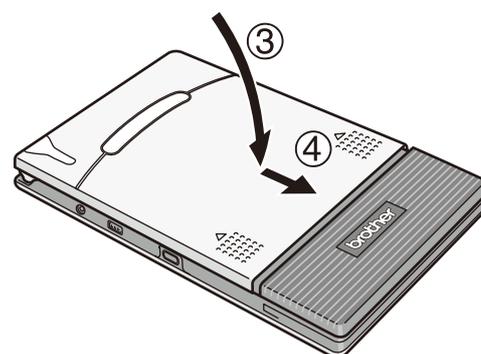
2 ペーパーカセットをセットします。

ペーパーカセットのタイトル（用紙の種類表示用）を上に向けます。用紙の先端が手前になるようにします。



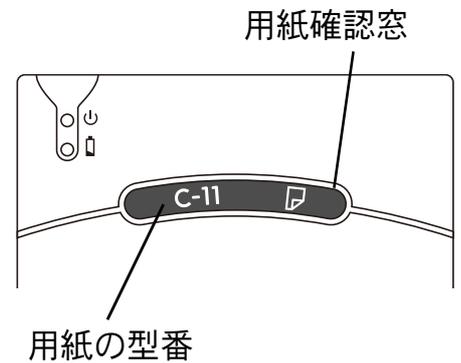
- 用紙の先端が折れ曲がらないよう、揃えてセットします。用紙の先端が折れ曲がったり、不揃いだと、紙詰まりの原因となります。
- 用紙の交換は、AC アダプターおよび USB ケーブルを外してから行ってください。

3 カセットカバーを③の方向に閉じます。



4 カセットカバーを④の方向にスライドさせます。

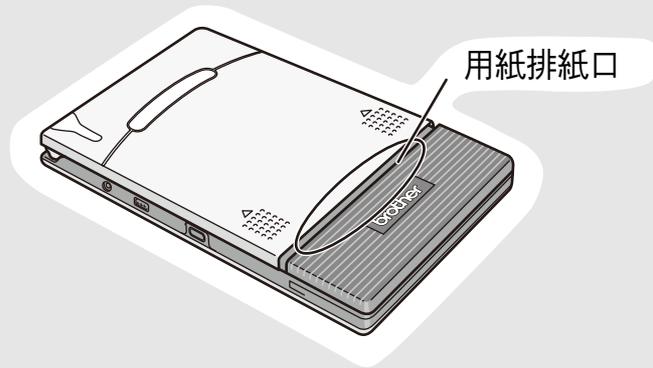
ペーパーカセットを正しくセットすると、用紙確認窓から用紙の型番が確認できます。



→ カセットカバーがロックされます。



- ペーパーカセットから用紙を取り出して、直接本機にセットすることはできません。
- 用紙の種類を変更するときは、ペーパーカセットごと取り替えます。
- 印刷実行中に、本機用の紙排紙口のまわりに力を加えたり、物を載せないようにしてください。



用紙が正しく送られないときは p.26 を参照してください。

Bluetooth 通信を利用する

■ Bluetooth で印刷する場合の注意事項

パソコンをご使用の方は、本機のプリンタードライバーをインストールする前に、パソコンまたはモバイル端末で Bluetooth 機能が使用できることを確認してください。



Bluetooth デバイスの詳しい操作については、パソコンまたはモバイル端末や Bluetooth アダプター、Bluetooth 管理ソフトウェアなどのデバイスの取扱説明書を参照ください。

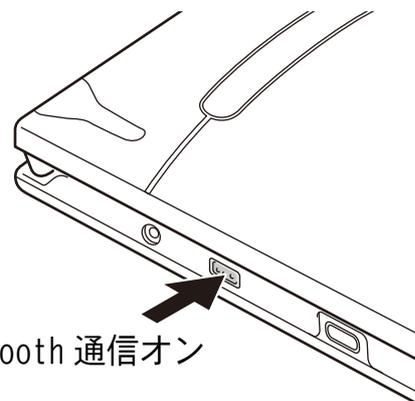
Bluetooth 通信を確立する

本機とパソコンまたはモバイル端末が Bluetooth で通信するための、基本的な設定の手順を説明します。詳細は Bluetooth デバイスの取扱説明書を参照ください。



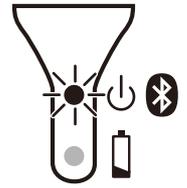
Bluetooth 通信を利用するためには、モード表示ランプが青色に点灯している必要があります。

- 1 モード表示ランプが緑色に点灯していることを確認します。(Bluetooth モード「オフ」)



2 電源スイッチを押し続け、モード表示ランプが一旦消灯した後に青色に点滅を始めたら、電源スイッチを離します。

→ モード表示ランプが青色に点灯します。
(Bluetooth モード「オン」)



3 パソコンまたはモバイル端末の Bluetooth を接続するための画面を開きます。

4 Bluetooth を接続するための画面で Bluetooth デバイスを検索します。

→ 「MW-170_*****」が検出されます。

「*****」はシリアルナンバーの下 4 桁です。

5 検索された Bluetooth デバイスの一覧から本機を選択して、接続を確立します。

→ パソコンまたはモバイル端末を本機に初めて接続するときは、「PIN コード」(または「パスワード」)の入力を要求されます。



Bluetooth デバイスによっては、2 度目以降も接続時に「PIN コード」の入力を要求されることがあります。

6 「PIN コード」(または「パスワード」、「パスコード」)を入力します。(工場出荷時は、本機のシリアルナンバーの下 4 桁に設定されています。)

→ Bluetooth を接続するための画面で本機が接続済みとして登録されます。

7 パソコン使用時は、Bluetooth を接続するための画面で本機との接続方法として「シリアルポート」を選択します。



- COMポート番号が表示されたらメモをとってください。
(パソコンまたはモバイル端末の種類によっては、印刷時にCOMポート番号が必要です。)
- 端末からBluetoothでプリンターを検索できない場合は、プリンターがほかの端末と接続している可能性があります。
iOSの場合：接続している端末でBluetoothを切断するか、最後に接続した端末情報を本体から削除してください。
(→ p. 21 参照)
iOS 以外の場合：接続している端末でBluetoothを切断するか、プリンターの電源を入れなおしてください。
- プリンターがスリープモードに移行してもBluetooth接続を維持します。
- プリンターがスリープモード中に、Bluetooth切断された場合等は、プリンターが一時的にスリープ状態を解除することがあります。
- データ通信中に、端末のスマートカバーを閉じると、通信できないことがあります。
- iPad/iPhone/iPod をご使用の際、プリンターから離れることによって接続が切れてしまった場合は、端末とプリンターを近付けた状態で端末のBluetooth設定から接続したいプリンターを選択して接続を行ってください。

■ 自動再接続機能について

プリンターと Bluetooth 通信を行う為には、Bluetooth 接続が切れる度に iPad* の設定から「Bluetooth」を選択し、Bluetooth 端末一覧から接続したいプリンターを選択して Bluetooth 接続状態にしておく必要があります。

Bluetooth 自動再接続機能は、何らかの理由で Bluetooth 接続が切れた場合に、プリンターが記憶している最後に接続した端末情報を用いて、最後に接続した iPad* に対しプリンター側から自動的に再接続する機能になります。(プリンターの電源が切れてから入れ直した時や、iPad* が一度圏外になってから圏内になった時など)

プリンターは、iPad* と接続中には、他の端末で検索しても見つかりません。

自動再接続機能のオン / オフ切り替えはプリンタードライバーユーティリティから設定できます。デフォルト設定ではオンになっています。詳細はソフトウェアユーザーズガイドを参照ください。

最後に接続した端末情報を本体から削除するには下記の操作を行ってください。

(端末情報を削除することにより、他の端末から接続しやすくなります。)

1. モード表示ランプが青色に点灯していることを確認します。(Bluetooth モード「オン」)
2. 電源スイッチを押し続け、モード表示ランプが一旦消灯した後に青色に点滅を始めたら、電源スイッチを離します。
→モード表示ランプが緑色に点灯します。(Bluetooth モード「オフ」)
3. 電源スイッチを押して、本体の電源を切ります。
4. 電源スイッチを押して、本体の電源を入れます。
5. 電源スイッチを押して、本体の電源を切ります。



端末情報を本体から削除するためには、本体の電源が入っている時に Bluetooth 未接続状態にしておく必要があります。

6. 電源スイッチを押して、本体の電源を入れます。
7. 電源スイッチを押し続け、モード表示ランプが一旦消灯した後に青色に点滅を始めたら、電源スイッチを離します。
→モード表示ランプが青色に点灯します。(Bluetoothモード「オン」)
この時、最後に接続した Bluetooth 端末には自動的に接続しません。

* は iPad、iPhone、iPod などの総称とする。

パソコンにインストールする

本機を使用する前に、プリンタードライバー、ラベル作成ソフトウェア P-touch Editor などのソフトウェアをインストールしてください。

インストールできるもの

■ P-touch Editor

P-touch Editor 5.2 では、フォント、テンプレート、クリップアートを使うことによって、複雑なレイアウトの多種多様なラベルを簡単に作成できます。

■ P-touch Update Software

P-touch Editor を更新する際に使用します。

■ プリンター設定ツール

P-touch Template 設定を行うためのものです。

■ プリンタードライバー

機械から印刷するのに必要なソフトウェアです。

■ マニュアル

- 1** ソフトウェアのインストーラーは、弊社ホームページ (install.brother) からダウンロードできます。
- 2** ダウンロードした .exe ファイルをダブルクリックし、画面の指示に従ってインストールしてください。
インストールが始まる前に、インストールする項目を選択するダイアログボックスで、必要なソフトウェア、マニュアルを選択します。
推奨するソフトウェアやマニュアルは既に選択されています。
- 3** 画面に従ってインストールを進めてください。

付録

お手入れをする



必ず本体の電源を切ってからお手入れをしてください。

■ 本機の表面を清掃する

汚れ・ほこりは、やわらかい乾いた布で拭きとります。汚れがひどいときは、水で濡らして固くしぼった布で拭いてください。

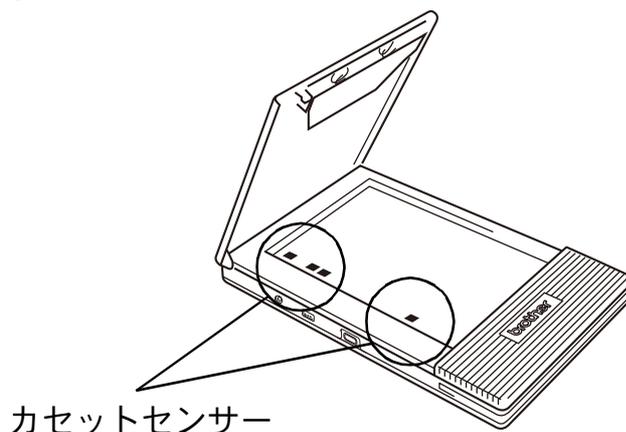


ベンジンやシンナーなどを使用すると、色や形が変わる原因となります。

■ カセットセンサーを清掃する

カセットセンサーが汚れるとペーパーカセットを正しく認識できなくなり、動作不良の原因となります。

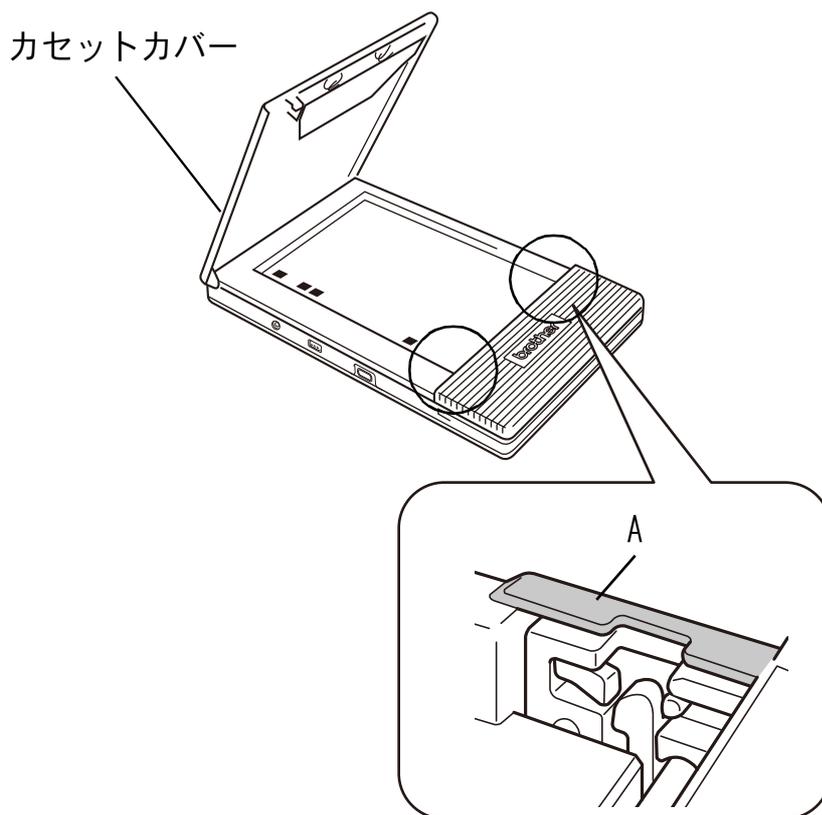
乾いた綿棒などでカセットセンサーを清掃します。



■ カセットカバー内部を清掃する

下図の A の部分に汚れ、ほこりなどが付着していると、カセットカバーが開きづらくなることがあります。

乾いた綿棒や布などで A の部分の汚れ、ほこりなどを取り除きます。



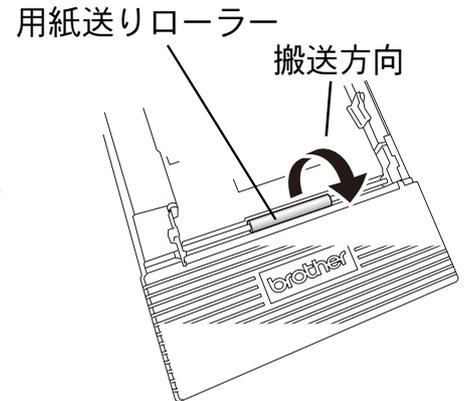
同様の手順でもう一方も清掃してください。

■ 用紙送りローラーを清掃する

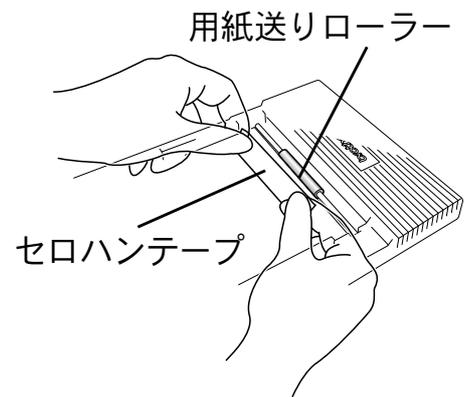
用紙が正しく送られないときは、用紙送りローラーを清掃します。

1 カセットカバーを開けます。

2 用紙送りローラーを搬送方向に止まるまでまわします。



3 セロハンテープを用紙送りローラーのゴム部分全面に貼り付けます。



4 セロハンテープをゆっくりはがし、用紙送りローラーを搬送方向と逆方向に3～4mmまわします。

→ 用紙送りローラーの汚れが取り除かれます。

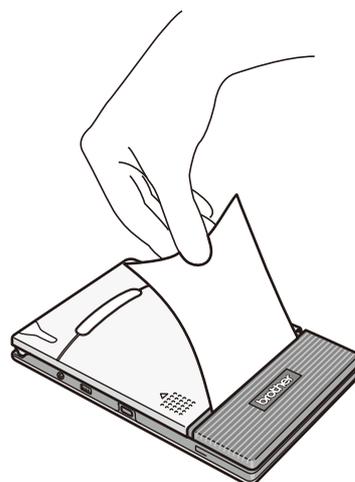
5 上記3、4の作業を用紙送りローラーが止まるまで繰り返し、ローラー全体の汚れを取り除いてください。

用紙が詰まった場合

以下の操作で用紙を取り除いてください。

■ 用紙排紙口から用紙が出ている場合

用紙排紙口から用紙を引き抜きます。用紙送りローラーを清掃し、紙粉を取り除いてください（p.26 参照）。



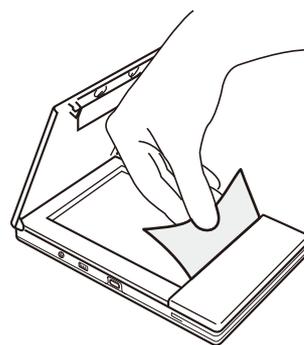
用紙が破れないようにゆっくり引き抜いてください。

■ 用紙排紙口から用紙が出ていない場合

1 カセットカバーを開きます。

2 ペーパーカセットを取り出します。

3 詰まっている用紙を引き抜きます。用紙送りローラーを清掃し、紙粉を取り除いてください（p.26 参照）。



用紙が破れないようにゆっくり引き抜いてください。



用紙を引き抜いても、本機の動作には影響ありません。

充電電池の交換

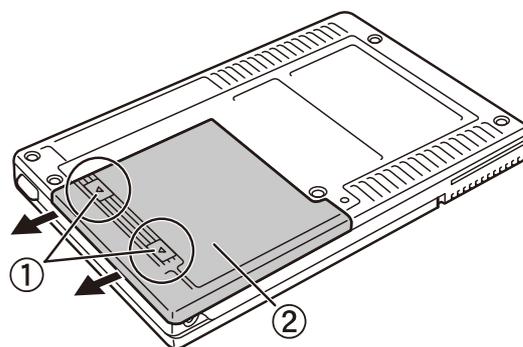
⚠ 危険

- 指定された充電電池（BT-100）以外は、使用しないでください。発火・故障の原因となります。
- 充電電池を取り扱う場合、「安全にお使いいただくために」の注意事項を合わせてご参照ください。



- 充電電池を分解しないでください。
- この充電電池のコネクターは、頻繁に抜き差しすることは、考慮されておられません。頻繁に抜き差しすると、コネクターの破損、バッテリーコードの断線の恐れがあります。充電電池の取り外しは、寿命で充電電池交換を行うとき、長期保管時のみにしてください。

1 ①の部分を押しながら、充電電池カバー②をスライドさせてカバーを本機から取り外します。



2 古い充電電池を取り外し、コネクターを外します。

3 新しい充電電池を取りつけます。（→ p.5 参照）



- バッテリーコードをはさまないように注意してください。
- 充電電池を取り扱う場合、「安全にお使いいただくために」の注意事項を合わせてご参照ください。
- リチウムイオン充電電池の廃棄
不要になった充電電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちいただくか、弊社コールセンターにお問い合わせください。廃棄の際、被覆をはがさないでください。分解しないでください。なお、送料はお客様のご負担となりますのでご了承ください。回収方法のご案内は、「安全にお使いいただくために」をご参照ください。

こんなときは

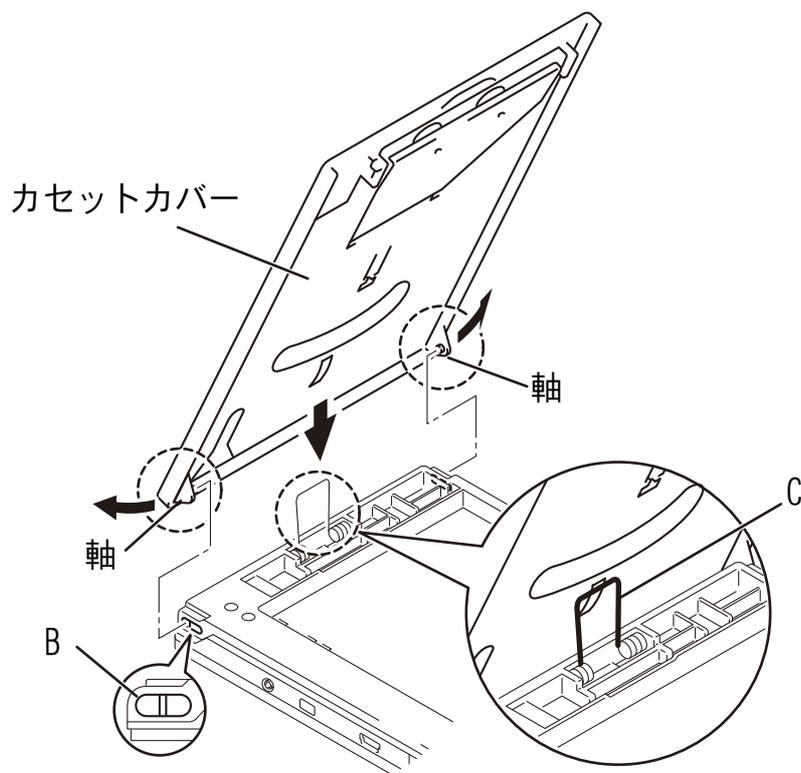
Q&A

症状	解決方法
電源が入らない	電源スイッチを、少し長めに押してください。 (→p. 12 参照) リチウムイオン充電電池の容量が残り少ない状態です。充電してください。(→p. 7 参照)
印刷の指示をしても印刷ができない	●Bluetooth で通信している場合 <ul style="list-style-type: none">・パソコンまたはモバイル端末の設定で、Bluetooth 通信が有効になっているか確認してください。(パソコンまたはモバイル端末の取扱説明書を参照ください。)・他のパソコンまたはモバイル端末が USB またはBluetoothで本機と通信中でないことを確認してください。 (→p. 18 参照) ●USB で通信している場合 <ul style="list-style-type: none">・本機とパソコンまたはモバイル端末の USB ケーブルがきちんと接続されているか確認してください。・他のパソコンまたはモバイル端末が USB またはBluetoothで本機と通信中でないことを確認してください。 (→p. 18 参照)
用紙が詰まった	用紙をゆっくり引き抜いてください。 (→p. 27 参照) 用紙送りローラーを清掃し、紙粉を取り除いてください (p. 26 参照)。
詰まった用紙を取り除いてもエラーが解除されない	破れた用紙が内部に残っている可能性があります。お買い上げの販売店、またはコールセンターにご連絡ください。(「安全にお使いいただくために」参照)
ランプが点灯、または点滅している	p. 8 の「表示ランプと本機の状態」を参照ください。

用紙が送られない	<ul style="list-style-type: none"> ・ ペーパーカセット裏側の折り線①をしっかりと折り曲げてください。(→p. 15 参照) ・ カセットカバーが完全に閉じているか確認してください。(→p. 17 参照) ・ 用紙が汚れている可能性があります。ペーパーカセット裏側の1枚目の用紙を抜いて、再度セットし直してください。(→p. 15、16 参照)
印字がかすれる (薄い)	カセットカバーが完全に閉じているか確認してください。(→ p. 17 参照)
カセットカバーが閉まらない	<p>下図の A の部分がロックされています。図を参照し、ボールペンの先端などで矢印の方向へスライドさせ、ロックを解除してください。</p> <p>カセットカバー</p> <p>ボールペンの先端などで押してスライドさせる</p> <p>① ②</p> <p>同様の手順でもう一方も解除してください。</p>
カセットカバーが開きづらい	乾いた綿棒や布などでカセットカバー内部の汚れ、ほこりなどを取り除いてください。(→ p. 25 参照)

カセットカバーの取り付け方法

カセットカバーの左右の軸を本体の両側のBの部分に差し込み、Cの部分をカセットカバーの内側にくるように取り付けてください。



製品仕様

本体仕様

機種名	MW-170	
表示	モード表示ランプ 青 / 緑 / 赤	
	充電表示ランプ オレンジ	
印字部	方式	ラインサーマルヘッドによるダイレクトサーマル印刷方式
	解像度	300 dpi × 300 dpi
	印字速度	約 13 秒 / 枚 (標準) (弊社基準原稿 感熱紙 印字率 7% 25 °C 環境)
	印字可能枚数	満充電から連続印字約 100 枚 *1 (Bluetooth スリープモード時を除く) (弊社基準原稿 感熱紙 印字率 7% 25 °C 環境)
給紙方式	ブラザー純正ペーパーカセット、自動給紙機構	
用紙	ブラザー純正 A7 カット紙 (74mm × 105mm)	
印刷領域	69mm × 100mm (C-51: 62mm × 95mm)	
電源	リチウムイオン充電電池 (BT-100: 7.2V)、充電用アダプター、USB	
充電時間 *2	AC アダプター充電時 : 約 2 時間 USB 充電時 : 約 3 時間	
インターフェイス	USB Ver. 2.0 (Full speed) Bluetooth Ver. 2.1+EDR Class2 SPP iAP2	
寸法	100mm (W) × 160mm (D) × 17.5mm (H)	
質量	300g (リチウムイオン充電電池、ペーパーカセット : 感熱紙 50 枚入り含む)	

*1 25 °C 環境下において、満充電状態の新品充電電池を使用し、USB 接続でブラザー標準パターン (印字率 7%) を連続印刷した場合 (A7 感光紙 C-11 を使用)。周辺温度が低い場合には、印刷できる枚数が少なくなります。

*2 同梱の充電用 AC アダプターおよび USB ケーブル (C タイプ) を使用し、充電電池残量なしから満充電になるまでの時間。(本体の電源はオフの状態)

よくあるご質問

- ACアダプターのケーブルをACアダプター本体に巻き付けたり、ケーブルを折り曲げたりして移動するうちに、内部の断線により充電できなくなりました。

→持ち運ばれる時は、結束バンドなどでケーブルを束ね、負荷のかからないようにしてご利用ください。



- USB ケーブルを接続したままの状態では本機を持ち運んでいるうち、USB コネクタが壊れ通信できなくなりました。

→持ち運ぶ際には、ケーブルを抜いてお持ちください。カバンの中であってもコネクタがぶつかると、大きな負荷がかかります。

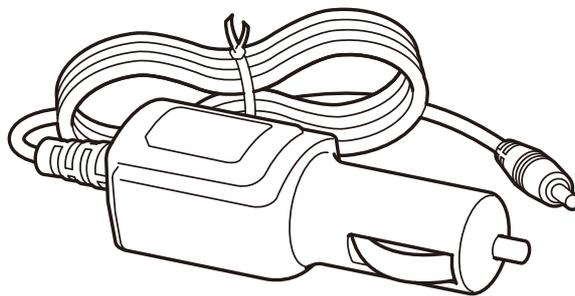
- 本機を車内に放置していたら、車内の温度の影響で変形などが起こり、故障しました。また、消耗品も真っ黒になりました。

→車内は想像以上の高温になることがございますので、放置されないようお願いいたします。

- ・ 本機は、以下の環境で使用できます。
 - 温度：0 ～ 40 °C
 - 湿度：20 ～ 80%（最大湿球温度：27 °C）

- ・ 以下のような極端に高温な場所・極端に低温の場所・極端に湿度の高い場所・ほこりの多い場所・振動の多い場所では使用、保管しないでください。
 - 車内（特に炎天下の閉めきった車内）
 - 浴室・給湯器の近くなど水がかかる場所、湿気の多い場所
 - 雨・霧などが直接入りこむ場所
 - 火気・熱機器の近く、強い直射日光が当たるなど高温の場所
 - 結露のあるところ

→オプション品としてカーアダプターをご用意しておりますが、充電専用のアダプターとなります。高温環境下に放置されますと、用紙の変色だけでなく、充電電池劣化の原因にもなりますので、車内には放置されないようお願いします。



■ 印刷速度設定の「低速」はどのような場合に選択しますか？

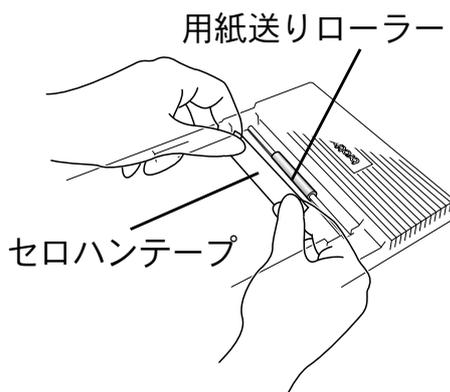
→MW-145シリーズ相当の印刷速度を望む場合に選択してください。印刷速度はプリンタードライバーユーティリティで設定できます。デフォルト設定では「標準」になっています。詳細はソフトウェアユーザズガイドを参照ください。

■ 印字した文字の上に捺印したところ、インクがなかなか乾かず擦ると消えてしまいました。

→感熱面への捺印はお勧めしておりません。これは印鑑メーカー各社様でも同様です。実際にお使いいただく場合には、よく確かめてからご利用ください。インクと同様に、セロハンテープ等の粘着剤やペンでも文字が消えることがございます。

■ カセットホルダ内に用紙が残っているのに、用紙が送られなくなりました。

→用紙送りローラーに汚れが付着し、それが、用紙のピックアップを阻害しているためと思われます。用紙送りローラーについての汚れはセロハンテープを使用して除去してください。



■ リチウムイオン充電電池を長持ちさせるためには

- ・ リチウムイオン充電電池はこまめに充電する事を避け、充電電池を使い切ってから充電されることをお勧めします。 ※ 注意
- ・ 高温環境下ではリチウムイオン充電電池の劣化が進みます。保管の際は、高温（炎天下の閉め切った車内など）を避け、直射日光を避けて下さい。
- ・ 長期間使用しない場合は、本機から充電電池を取り出し、温度と湿度が低めの室内環境（温度 15 °C ~ 25 °C、湿度 40% ~ 60% が望ましい）かつ静電気の発生しない場所で保管してください。充電電池の性能 寿命の低下を防ぐため、3ヶ月に一度は充電してください。 ※ 注意

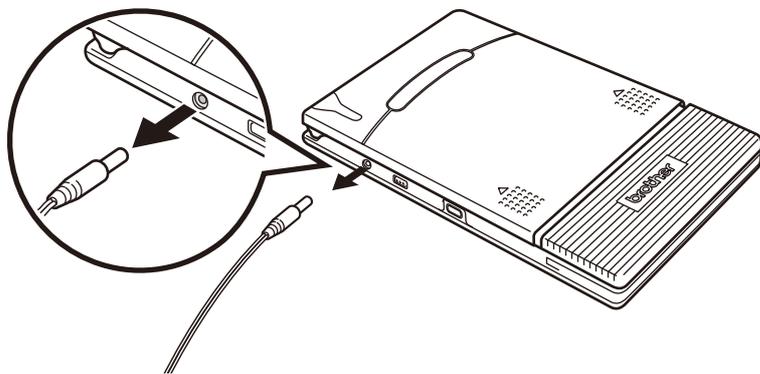
（※ 注意）充電電池残量の目安について

バッテリー充電ランプが2回点滅を繰り返す状態になると、30%未満の充電状態になります。

- ・ 充電電池のコネクターは、頻繁に抜き差しすることは、考慮されておられません。頻繁に抜き差しすると、コネクターの破損、バッテリーコードの断線の恐れがあります。充電電池の取り外しは、寿命で充電電池交換を行うとき、長期保管時のみにしてください。

■ 電源差込口のコネクターが壊れ充電できなくなりました。

→ ACアダプターのジャックを接続したまま、本機を持ち運んでいるうち、コネクターが破損することがあります。このような不具合をなくす為には、電源差込口のコネクターからジャックを抜いてお持ちください。



AC アダプターのジャックを接続した状態で持ち運ばれますと、ジャックに繰り返し力が加えられます。本体側のコネクターに負荷がかかり、コネクターの半田付けが外れ、導通不良となる場合があります。精密な機器ですので、ジャックの抜き差しにつきましても、充分なご注意をお願い致します。

■ 純正品用紙以外を使用しますと、搬送不良が頻発する可能性があります。

→弊社のモバイルプリンターには、ブラザーの提供する純正品用紙をご使用下さい。他社製の用紙をご使用されますと、場合によっては、搬送不具合が多発し、清掃しても解決できないことがあります。他社製の用紙に起因する故障の場合には、無償保証期間内であっても有償修理となりますので、ご注意ください。
尚、全ての用紙で不具合が発生する訳ではありません。

■ ペーパーカセットの取扱いについて

→弊社のモバイルプリンターは、セットしたペーパーカセットによって用紙の種類を識別し、その用紙に最適な設定を自動的に行っていきます。
用紙を抜いて別のカセットに入れ替えないでください。また一度使用した用紙、ペーパーカセットから出した用紙につきましても、再びペーパーカセットに戻さないでください。重送、空送といった搬送不良、ヘッドの故障の原因となるおそれがございます。

■ 万一冷温環境下にプリンターを持ち運んだ場合

→0℃を下回る環境では、プリンターは動作しない場合がございます。また、極低温環境（10℃以下）になる場合には、印刷枚数が少なくなります。
プリンターの周辺温度を0℃以上となる場所で印刷をお願いします。万一、冷温環境に持ち込んだ場合には、結露を避けるため、ゆっくりと温度が変わるようにして、少しずつ外気温に近づけてください。

■ 感熱紙の保管について

【印字前の保管について】

→包装状態（光、ガスを通さない状態）にて、25℃、湿度 65%RH 以下の環境下にて保管してください。また、購入後 1 年以内に使用してください。

【印字後の保管について】

→25℃以下の冷暗所（ファイリング状態を含む）にて保管してください。

【保管における注意事項について】

- ・ 感熱面および裏面に、次のものを接触させないでください。
 - 1)裏カーボンおよびノーカーボン紙、ジアゾ感光紙
 - 2)軟質塩化ビニル製品、ゴムマット、消しゴム等の可塑剤を含むもの
 - 3)接着テープ類、修正液、油性マジック、サインペン
 - 4)アルコール、ケトン、エステルおよびエーテル基を有する有機化合物
 - 5)皮革製品、ハンドクリーム、整髪料、化粧品
 - ・ 雨水、水、汗等液体に漬けないでください。
 - ・ 濡れた手や汗ばんだ手で触れないでください。
 - ・ 感熱面は糊付けしないでください。また、裏面に糊付けする場合は、でんぷん系、ポバール系または C M C 系等の水性系糊をご使用ください。
 - ・ 感熱面及び裏面に捺印をする場合、捺印部分は捺印インキ成分との化学反応により感熱面白紙部の変色や記録部が褪色します。
 - ・ 感熱面を引っかいたり、摩擦熱を与えたりしないでください。
 - ・ 大切な書類は別にコピーしてお持ちください。

【感熱紙に関する事前注意】

1. 印字後短期保存及び印字後長期保存については、あくまでも情報の提供を主たる目的で作成したものであるため、ブラザーは数値・耐用年数等の記載内容を保証するものではありません。
2. 記載の印字性能は、用紙の保管環境や印字面への脂・埃の有無、印字環境等によって影響を及ぼされる為、製品の購入後は実際の使用環境において確認後、お客様ご自身の責任において使用してください。
3. ブラザーは、記載内容に関連してお客様に生じた損害・逸失利益等について、一切責任を負いません。

brother

D01FZG001

